

1 選定病院

日本赤十字社東京支部 武蔵野赤十字病院（武蔵野市）

2 事業計画と選定委員会での主な意見

| 事業計画  |  | 選定委員会での意見   |
|---|--|---|
| 地域<br>の<br>向<br>上<br>ハ<br>カ<br>力  | OT・PT・ST等対象<br>・急性期から維持期までの症例検討会の開催（1回/年）<br>かかりつけ医対象<br>・かかりつけ医が抱えている問題点等を抽出するための意見交換会の開催【武蔵野市医師会、三鷹市医師会】   | ・課題をよく把握している。   |
| 訪<br>問<br>・<br>通<br>所<br>リ<br>ハ<br>分<br>野   | リハ従事者とケアマネの交流の場の設定<br>・症例検討会の開催、各市が開催する地区別ケース検討会へ参加（5回/年）<br>ケアマネ向け研修の実施<br>・標準テキストを用いた講習会の開催（3回/年 各市）【北多摩南部保健医療圏各市】<br>ケアプラン相談支援<br>・電子メールやFAXで受付、地区別ケース検討会へ参加（随時）                            | ・OT、STの団体との連携を進めて欲しい（特に地域団体）。   |
| 地<br>域<br>リ<br>ハ<br>関<br>係<br>者<br>と  | 連絡会の開催<br>・武蔵野市運動器リハビリテーション研究会、三鷹・武蔵野地区リハビリテーション連絡会、三鷹武蔵野勉強会の開催（5回/年）  | ・診療所リハスタッフへのアプローチは積極的にお願したい。<br>・リハ関係者だけでなく、在宅にかかわるケアチームへの連携とネットワークを考えて欲しい。<br>・多職種への拡大をより強化する必要があると思われる。<br>・連携の範囲対象が狭い。 |
| 選<br>択<br>す<br>る<br>役<br>割  | 区市町村等の事業への支援<br>・武蔵野市主催の介護支援専門員研修会の中で症例検討会を実施<br>脳卒中医療連携推進事業への支援<br>・北多摩南部脳卒中ネットワークの運営支援<br>高次脳のリハ事業への支援<br>・高次脳機能障害支援センターと協力<br>地域のニーズ<br>・在宅で働くリハ職向けに講義を実施（6回/3年）<br>・職能団体（PT協会等）の勉強会等の開催に協力 | ・特になし   |
| 【総合評価】  |  |   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>多方面への働きかけを実施している点が評価できる。</li> <li>取組方針、現状の課題認識が明確、基幹病院として地域を把握できており、今回も期待できる。</li> <li>介護職及びケアマネジャーの団体との連携強化を望む。</li> <li>従来の事業をさらに前進させていただきたい。</li> <li>計画、事業がP Tの視点に片寄っている。</li> </ul> |  |   |

3 区市町村・地区医師会への意見聴取

| 区分         | 区市町村  | 地区医師会   |
|------------|---|---|
| 現在の連携状況    | 有 3 箇所<br><br>【連携内容】<br>・市が実施するケアマネ研修への協力（武蔵野・小金井）<br>・個別の通院事例の支援連携や地域リハに関する研修会等への参加（府中）  | 有 5 箇所<br><br>【連携内容】<br>・地域支援病院連絡協議会（北多摩）<br>・具体的疾患についての研修等への参加（武蔵野・府中）<br>・防災運営協議会（三鷹）<br>・急性期リハの医療連携（小金井）   |
|            | 無 3 箇所  | 無 1 箇所  |
| 指定に対する意見   | <ul style="list-style-type: none"> <li>近隣連携病院が集まる際には、北多摩南部6市以外の参加もあり、普段からの連携体制によるものと推察する（武蔵野）</li> <li>地域リハの基幹として活動しているので、指定して欲しい（三鷹）</li> <li>地域リハ支援センターを拠点に地域リハシステムが更にシステム化されることを要望する（府中）</li> <li>脳卒中のネットワーク構築などの実績もあるため、今後の活動に期待する（調布）</li> <li>ケアマネの医療連携について、まずは研修等を通じての認識から開始したい（小金井）</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>地域リハの必要性があるが、病院の取組みとしては地域への発信が少なく連携という程の事は難しい（北多摩）</li> <li>現在の状況で経過を見たいと思っている（三鷹）</li> <li>圏域にセンターが整備されることは望ましい（府中）</li> <li>センターには情報公開や連携の呼びかけなどより積極的な姿勢が望まれる（小金井）</li> </ul>  |
| 事業計画に対する意見 | <ul style="list-style-type: none"> <li>長期的経過を知識でしか知らないリハ職が増加しており、退院時支援や講師としてだけではなく、多くのスタッフが地域現場にもっと触れてもらえるとうい（武蔵野）</li> <li>より地域に密着した医療機関、介護事業者との連携をお願いしたい（三鷹）</li> <li>介護支援専門員、介護福祉職員に対する啓発・研修等の機会を設け、医療と福祉の地域連携が更に充実されるよう要望する（府中）</li> <li>研修計画が圏域全体に周知されること、必要な職種に案内が届くよう周知方法を工夫して欲しい（調布）</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>今後必要な各市との連携体制が必要である（北多摩）</li> <li>診療所医師が関わるリハは在宅での維持期リハがほとんどだが、この領域に關しセンターと地域医療の連携が不足しているように感じる（調布）</li> <li>現在の計画に添って連携を取りたいと考えている（三鷹）</li> <li>計画については様々な内容が網羅されており、今後、圏域の医療機関との連携強化が図られるものとする（府中）</li> <li>地域の各種リハビリ施設、病院、開業医を包括した形で目に見える連携体制の構築を望む（小金井）</li> </ul> |